

救急外来トリアージの実施基準

令和7年4月21日

【対 象】

大垣市民病院救急外来受診患者

【実施日時】

土日祝日 13 時～21 時（原則専従トリアージ）

24 時間 PHS を持参して対応する（トリアージ専任）

【トリアージ目標開始時間】

救急外来受け付け後 20 分以内

【トリアージを行う場所】

大垣市民病院 救急外来 第 1 診察室

トリアージは、第 1 診察室でトリアージを実施する

トリアージナースは、必要に応じて待合室内でトリアージを実施する（Rapid Triage）

【トリアージ記録】

- ・ 電子カルテの診療記載にトリアージの結果を記録する
- ・ トリアージレベルを決定した内容がわかる記録をする
- ・ 医師は、診察記録をトリアージ記録の続きに記載する

【トリアージの分類】

JTAS（日本版緊急度支援システム）を採用

- ・ Level I（蘇生）：直ちに初療室で蘇生開始
- ・ Level II（緊急）：15 分以内に診察開始
- ・ Level III（準緊急）：30 分以内に診察開始
- ・ Level IV（低緊急）：90 分以内に診察開始
- ・ Level V（非緊急）：順番通り

【トリアージ再評価時間】

最初にトリアージした時間から、各レベルに応じた再トリアージ時間

- ・ Level II（緊急）：15 分以内に再トリアージ
- ・ Level III（準緊急）：30 分以内に再トリアージ
- ・ Level IV（低緊急）：60 分以内に再トリアージ
- ・ Level V（非緊急）：120 分以内に再トリアージ

【トリアージの流れ】

- ・受付が患者パスポートファイルを所定の場所に届ける
- ・トリアージナースは、問診票を確認後トリアージ室または待合室でトリアージを開始する。
- ・一人 3～5 分で問診およびフィジカルアセスメントを行う。**JTAS** を参考にトリアージレベルを決定すると同時に電子カルテに入力する。(詳細な記録は不要)
- ・トリアージが済んだ患者パスポートは、トリアージナースが所定の場所に置く。
- ・緊急度が高い場合は、トリアージナースが医師に報告する。
- ・心電図、簡易血糖測定が必要な場合は、観察室看護師に依頼する。

【トリアージの検討】

- ・救急専門医とトリアージナースによる症例検討会を行う。
- ・症例はトリアージ担当者、救急看護認定看護師が選択する。
- ・事例検討した結果は、専用の用紙に記載する。

【トリアージナース基準】

- ・ 救急領域経験年数 3 年目以上で日替わりリーダーを経験している者
- ・ トリアージに関する教育を受け、緊急度判定に関する知識を学んだ者
- ・ 以下の研修を経験しているのが望ましい

ACLS、PALS、ICLS、ISLS、ファーストエイドナース、JPTEC、JNTEC
トリアージナース育成研修 (JTAS コースを含む)

《略語参照》

JPTEC : 病院前外傷プログラム

JNTEC : 外傷初期看護

ACLS : 二次救命処置

PALS : 小児二次救命処置

ISLS : 神経救急蘇生コース

ICLS : 二次救命処置

JTAS : 日本緊急度判定支援システム